



広沢 真 議員

**Q** 町民の声をとり入れた介護事業計画を

**A** 様々な人が加わって計画策定にあたります



デイサービスセンターで楽しく交流

**問** 現在策定が進められている第3期介護保険事業計画について伺う。

(1) 介護保険事業計画策定で作成に町民の参加を保障するため、策定委員会の公募制を採用し、利用者の代表を入れられないか。

(2) 介護保険料の値上げを抑えるため、準備基金を取り崩すことはできないか。

(3) 今回提示されている新二段階の創設に加えて、生活保護水準以下の生活

をしている人たちに対して、さらに一段階設けるか、減免規定を新たに設けて応能負担の原則をすすめる施策はできないか。

**答** 滝口町長 (1) 介護保険運営委員会は現在、被保険者代表、介護に関する学識経験者、介護事業者など公募による住民代表4名。さらに仙台大学、町内事業者、ケアマネジャー、歯科医、民生

委員などの代表7名を新たに委嘱して策定にあっています。

(2) 今回の保険料算定で、すでに基金を5千万円取り崩し値上げを抑えています。

(3) 柴田町の約7千名の被保険者で新たな段階、減免は保険料の値上げに つながり、現行制度で対応します。



有賀光子 議員

**Q** 葉坂24号線に防犯灯の設置を

**A** 優先順位を決めて整備に努めています

**問** 葉坂24号線を成田地区から車で入って行きますと、暗い坂道を女子高校生が自転車で上がって行くのを見ました。近くには民家もなく、何か事が起きて大きな声を出しても誰にも声が届かない状況です。そこで町長にお伺いします。

(1) 葉坂24号線に防犯灯を設置する計画はないのでしょうか。また、計画があるとすれば、いつ設置するのかお伺いします。

(2) 葉坂24号線のような箇所はほかにもあるはずですが、ぜひそんな箇所に早急に防犯灯を設置して町民の安全・安心に配慮していただきたいと思えます。

**答** 滝口町長 (1) 交通安全施設として、街路灯が1基設置されておりますが、この1基だけでは十分な明るさが確保できないことは認識しています。

(2) 防犯灯の設置につきましては、行政区長に地域の現状を調査していただき、防犯灯設置要望箇所の提出をお願いし、優

先順位を決めて整備をさせていただきます。

しかし、住民の設置要望にすべて応えていくことは財政状況では非常に困難です。

町が設置費用を全額負担するのではなくて、行政区の防犯灯設置費用、補助制度の設定について検討していきます。



防犯灯の設置が待たれる



森 淑子 議員

**Q** 柴田町を  
ゴミゼロの町に

**A** 数値目標を立てて  
削減に努めます



資源回収に取り組む 9A 区

**問** 先進国では「燃やさない処理」「埋めない処理」に向かっています。

(1) 柴田町から排出されている一般廃棄物のうち、家庭から出るごみと事業所から出るごみの割合はどうか、それは増加傾向ですか、減少傾向ですか。

(2) 9A区では昨年から、月に一回紙資源と空き缶を地域で収集、分別しています。売却益は行政区の収入になり、10カ月間で21万8千366円になりました。

した。この取り組みを町内全域に広げる考えは。

(3) 資源分別を進めて資源化率8割を実現した町があります。柴田町でも数値目標を立ててゴミゼロに取り組みませんか。

**答** 滝口町長 (1) 生活系ごみと事業系ごみの割合は3対1となっています。14年から16年度では全体で5割減です。

(2) 集団資源回収は、ごみの減量につながるほか、子ども達のを大切にすることを育て、地域のこ

ミュニティにも役立ち、売却益は活動資金になります。他の行政区にも広げてより良い社会の実現に努めます。

(3) 町が収集しているものと、仙南リサイクルセンターで分別・資源化しているものを含めると、17.6割になります。現在、約3億8千万円かけてごみを燃やしています。数値目標を立ててごみの削減に努めます。

**Q** コンパクトシティ  
の取り組みとは



水戸義裕 議員

**A** 人との関係を大切に、  
人間性あふれるまちを



コンパクトシティにどう取り組むか

**問** 大型ショッピングセンターの郊外進出や住宅地の郊外化により、中心市街地からにぎわいが消え、船岡・榎木の商店街も以前より寂しい。空洞化現象や人口減、少子高齢化等にも対応した新しい都市計画の手法として、全国的に「コンパクトシティ構想」が導入されているようです。町長も広報紙等でこの構想を掲げている。中心市街地と商店街の再生。郊外の住宅地と農村部、その周辺を

含めた、新しい時代へ向けての柴田のまちづくりについてお伺いしたい。

(1) コンパクトシティ構想と取り組みについて。

(2) にぎわいのあるまちづくりについて。

**答** 滝口町長 (1) コンパクトシティは持続発展する社会。都市を小さくするのではなく、人との関係を大事に、人間性あふれるまちをつくること。自分たちの町の将来像をどう描くのか。従来の考え方を変え新しい時代

に向けみんなで議論し、中心街再生を含め本町の自然環境、周辺農村部や地域の文化伝統などの資源を活かした、新しいまちづくりを推進していきたいと考えています。

(2) 顔の見える交流。柴田の生活文化に触れることの楽しみをいかに創り活かせるか。それには、知恵や企画力、やる気が必要です。芽はできつつあると思っています。